



▼早朝から金屋子神社へはだしで向かいます。



## 祈りを込めた鉄の道 はだし参り (比田地区)

気温は4度。十数分程歩くと、足はしびれ、アスファルトから寒さと痛みが全身を打ちます。木原村下の母校・宇部工業高校からは5人が参加。同校は文化祭で復元たたらを行います。濱野隆教諭は「たたらを通して生徒にモノづくりの精神を学んでほしい」と操業の成功を願います。また、初回から欠かさず参加している新見市の藤井勲さん

### たたら文化が色濃く残る道

気温は4度。十数分程歩くと、足はしびれ、アスファルトから寒さと痛みが全身を打ちます。木原村下の母校・宇部工業高校からは5人が参加。同校は文化祭で復元たたらを行います。濱野隆教諭は「たたらを通して生徒にモノづくりの精神を学んでほしい」と操業の成功を願います。また、初回から欠かさず参加している新見市の藤井勲さん

は、たたらへの銚押し法を復活させ、毎年秋に操業します。「春は安全祈願で秋はお礼参りだ」と笑顔。参加する人の思いもさまざまです。歩みをすすめるこの道は、たたらが育んだ鉄の道。道沿いの市原たたらや西比田の町などでその名残を見ることができま。金屋子神社の門前町・西比田の町は、今年日本遺産の一つとして認定されました。通りの広さから往時の繁栄がうかがえます。大鳥居をくぐり参道を進むと8時に神社へ到着。一行はようやく表情を崩します。宮司に祈願していただいた後、お札を受け取り、そしてまた2時間の道を歩きました。

### たたら文化が色濃く残る道

歩みをすすめるこの道は、たたらが育んだ鉄の道。道沿いの市原たたらや西比田の町などでその名残を見ることができま。金屋子神社の門前町・西比田の町は、今年日本遺産の一つとして認定されました。通りの広さから往時の繁栄がうかがえます。大鳥居をくぐり参道を進むと8時に神社へ到着。一行はようやく表情を崩します。宮司に祈願していただいた後、お札を受け取り、そしてまた2時間の道を歩きました。



▲神社でお参りを終えた一行。



### はだしで参る金屋子神社

11月3日早朝6時。国内で唯一、たたら操業を行う奥出雲町大呂の「日刀保たたら」で、夜も明けぬ寒空の中、号令とともに34人が勢いよく歩き出す。足元はみな裸足です。目指すは鉄の神がまつられる西比田の金屋子神社。片道約10キロの道のりを往復します。同神社の春と秋の例祭にあわせて年2回行われる定

例行事です。

この行事はたたら製鉄を統括する村下(技師長) 木原明さんの呼びかけで平成17年から始まりました。日刀保たたら、日立金属、安来製作所

和鋼博物館など製鉄やたたら

の関係者が参加しています。

古来、たたら場や鍛冶場で金屋子神は守り神として、中国

地方を中心に九州、四国などで広く信仰されてきました。

「たたら製鉄は、炉を開けてみるまでわからない。神に祈る部分はいまだにある」と木原村下。製鉄での未知なる部分が信仰を広げる一つとなったのかも知れません。

## 編集後記

▼認知症の取材で市内の施設を数カ所訪問。どの施設でも入居者の皆さんが穏やかな顔で過ごされているのに驚きました。施設の職員やご家族など周囲の人のサポートのおかげなのでしょう。施設の職員の方に伝えると「安来ではこういう施設がたくさんありますよ」と話していたのが印象的でした。(山)

▼市役所職員も怒っています。先日は福祉課職員を名乗り「医療費の還付金がある」という電話が。電話帳で調べたのが、実在しそうな名前を使っています。職員も業務で皆さんの自宅に電話することがあります。しかし、この電話も警戒されかねません。信頼関係に水を差す特殊詐欺。緊急で記事にしました。(の)

安来市の人口と世帯数 H28.10.31現在

人口合計 / 40,003人  
(男:19,147人 女:20,856人)  
世帯数 / 14,245世帯

- 資源保護のため、この広報紙は再生紙を使用しています。
- 広報紙にあなたの写真が載りましたら、差し上げますのでご連絡ください。
- 自治会宛の発送等につきましては、市民参画課(☎23-3067)までご連絡ください。

